

稲刈り祭は 10 月 2 日（日）に

広町田んぼの会

ひと月前に開花した稲穂が、写真のように、重く垂れています。1本に120粒ほど。天候が稲刈りまで順調なら、去年以上の収穫が期待できそうです。

その稲刈りの日時について、私たち市民協議会が支援する広町田んぼの会は、10月2日（日）午前9時から、と決めました。小雨決行です。去年は9月25日に刈りましたが、ことしは4～6月に低温だった影響が残り、生育が遅れているので、1週間ほど遅らせます。

対象は田んぼ4枚、約5アールに植えた早生種のうるち米キヌヒカリです。別に、もち米の中生種マンゲツモチを約1.2アールで育てていますが、これも熟成が進めば刈ります。



撮影＝9月4日

小さいお子さんも参加できます

ことしも例年どおり、稲刈り祭と名づけ、広く市民の参加を受け入れます。どんな小さいお子さんも参加できるように、準備を整えます。汚れてもいい服装で、お集まりください。

稲刈りは刈るだけでなく、稲を束ね、はさ（稲架け）に運んで架けるまで、一連の作業です。架けた稲束が秋空に浮かび上がるまで、お子さまとごいっしょに、汗を流してください。

同じ田んぼで1年前に収穫したおコメが、粳のまま保存してあります。おにぎりを作り、飲み物を添えて、実費（高校生以下は無料）で提供します。無農薬・有機栽培の味を、ご家族でご賞味ください。

稲刈り祭で刈った稲は15～20日、日に当てて乾燥させたあと、脱穀しますが、ざっと200キロの収穫を見込んでいます。その一部を精米し、11月に催す収穫祭に、薪で炊き、新米のおにぎりやお餅にして提供します。